

第 39 回 社協チャリティバザー 実施報告書

— 社協チャリティバザーは、平成 29 年度で 39 回目を迎えました —

平成 29 年 12 月 9 日(土)、エブノ泉の森ホール 2 階において、社会福祉関係団体及び協力団体・グループや市民の皆様からいただいた品物を市価の半額程度で販売、売上金はすべて市民の福祉活動に活用することを目的として第 39 回社協チャリティバザーを開催しました。

10 月 12 日(木)に共催団体による準備会を開催し、11 月 1 ヶ月間で物品提供・寄付金の受付を行いました。

【値付け】

社会福祉センターの移転に伴い、社会福祉センターからエブノ泉の森ホールまで品物を運ぶことになった今年は、協力者も 2 会場にわかれての作業となりました。12 月 8 日(金)、午前 9 時から社会福祉センターに値付けと開封作業を担う協力員 29 名が集まり、値付けした品物を車両に積載。午前 10 時にエブノ泉の森ホールに集まった協力員 46 名が搬入口から各売場に品物を運びました。

【当 日】

12 月 9 日(土)、午前 8 時半のエブノ泉の森ホール開館と同時に開場を待つ来場者の列ができ、10 時の販売開始とともにメイン会場のレセプションホールはいっぱいとなりました。レセプションホールは 200 円以上の品物を集中レジ方式で販売した他、京都の高名な陶芸家の作品のコーナー、オークションのコーナーを設置しました。特別会議室に設けた 100 円コーナー、中会議室の野菜コーナーと衣類コーナーも盛況で一時は満員となりました。集中レジ形式にしたことで、小会議室の手荷物預かりの利用も多くありました。



当日は登録ボランティアグループ「手話サークルいちょう」が手話通訳のボランティアを実施



商品の陳列スペースを拡大し、集中レジ形式にしたことで商品を選びやすいと好評を得たレセプションホール

午前 11 時からオークションを開始、企業などから提供のあった宿泊招待券・食事券・入浴招待券・空気清浄機・掃除機・炊飯器・ふとん・プロスポーツ選手のサイン入りグッズ等目玉商品が落札されると会場はおおいににぎわい、盛り上がりました。

午後 2 時にはすべてのコーナーで販売を終了し、各種団体・ボランティア・社協関係者 106 名の協力者により、初

めての会場の販売ですが、大きな事故なく終えることができました。

【当日売上げ及び寄付金額】

コーナー	第 39 回売上金	第 38 回売上金
100 円コーナー	1 4 0 , 6 1 0 円	5 9 , 1 0 0 円
200 円以上コーナー	3 0 2 , 5 0 0 円	(※1) 3 6 6 , 2 6 2 円
野菜コーナー	6 7 , 7 5 2 円	1 0 0 , 3 5 0 円
衣類コーナー	8 3 , 0 5 0 円	6 9 , 1 4 0 円
喫茶コーナー	(※2) 0 円	5 7 , 5 0 0 円
オークションコーナー	2 3 7 , 5 0 0 円	3 6 3 , 9 0 0 円
美術品	3 9 , 5 0 0 円	7 5 , 0 0 0 円
寄付金・当日募金箱	4 0 0 , 3 4 4 円	4 7 1 , 8 5 0 円
合 計	1 , 2 7 1 , 2 5 6 円	1 , 5 6 3 , 1 0 2 円

《前回より、-291,846 円》

※1) 200 円以上コーナー、食品・洗剤・タオルコーナー、手作りコーナー、化粧品コーナーの合計

※2) 喫茶コーナーは会場の都合で開設できませんでした。



初めての会場にも関わらず、10時までにはたくさんの方に並んでいただきました。

レセプションホールでは入口で買い物袋を配布し、出口で一括会計を行う方式で販売しました。



野菜コーナー・衣類コーナーは従来通り、その場で精算する形式を採りました。ホールの動線から離れていたため、ボランティアさんの発案でレセプションホールでも一部販売しました

